

基本理念

学校経営の根底に流れる理念は、「生徒の可能性を信じて寄り添う学校」である。岩見沢市がこれまで大切にしてきた「子どもを徹底して大切に教育づくり」「子どもが主人公になる教育づくり」「子どもが輝く教育づくり」と軌を一にするものである。



令和7年度 岩見沢市立緑中学校 学校経営グランドデザイン

目指す学校像

- ◇生徒たちが通いたくなる学校
- ◇保護者が子どもを通わせたいと思う学校
- ◇地域の方々が緑中を誇りに思う学校
- ◇職員が生徒の可能性を信じて寄り添う学校

【北海道教育の基本理念】

「自立」と「共生」

【岩見沢市の学校教育】

未来のトビラを拓く、
教育のまち 岩見沢
～「輝き」から「煌き」へ～

学校の教育目標

- 1 健康でたくましく、自主的に行動する生徒
- 2 真理を探究し、協働して学びに向かう生徒
- 3 明朗で豊かな心を持ち、礼儀を忘れぬ生徒
(令和2年4月1日制定)

【キーワード】

チームを生かす
～共有・協働・貢献～

【校訓】

- 1 強 く (体)
- 2 正 し く (知)
- 3 明 かる く (徳)

中学校卒業時の姿

～社会の中で信頼され、愛され、
輝ける人になっている姿を目指して～

- ①目標に向かって、何度も挑戦・努力できる
- ②自分の考えをより良く相手に伝えることができる
- ③自ら考え、判断し、行動することができる
- ④失敗と成功を経て、学びや自信につなげることができる
- ⑤思いやりの心を持ち、互いに認め合える

※令和5年度に生徒会と教職員が一緒に考えた目指す姿です。当時1年生だった生徒は、今3年生になっています。

学校経営の視点から大切にしたいものとして

【授業像】

- 1 安心して自分の力を発揮できる授業
- 2 個別最適な学び・協働的な学びのある授業
- 3 学びにつながりが生まれ、自分の変化に気付く授業

【教職員像】

子どもたちの言葉、子どもたちの心の声を聴くことのできる教職員

【地域とともに】

地域（世代）とつながる
※個人、学年・学級、全校、部単位、教職員等、つながり方は様々

【働き方改革を意識して】

- 1 教頭業務の改善
- 2 年間行事予定の平準化
- 3 地域への理解促進のための取組
- 4 日課表の改定に伴う教職員自身によるタイムマネジメントの確立

重点事項

45分授業午前5時間制の特色を生かしたカリキュラム・マネジメント

具体的な取組

1 45分授業の質の確保に係ること

- (1) 授業改善 ～ ①発問や活動の精選 ②単元や題材を意識した授業デザインの意識の向上
- (2) タイムマネジメント意識 ～ ①活動時間確保の工夫 ②時間を守る意識の向上と工夫

2 生み出した時間の効果的な活用の追究に係ること

- (1) 自学自習のエデュタイム(14:15～14:55)
①生徒一人一人の興味・関心を生かす学習活動 ②補充的及び発展的な学習活動
- (2) 生徒会、学年・学級活動の充実（毎週木曜のエデュタイムを活用）
- (3) 教員の時間の充実（教材研究、研修、会議等に係る時間の確保）

3 日課表の工夫に係ること

- (1) 週初め(月曜1校時)と週終わり(金曜エデュタイム)のゆったりとした時間の確保と生徒の健康観察
- (2) 年間を通じて変わらない日課表による生活リズムの構築と学習習慣の定着と確立

数値目標

- 1 (1) 学習する内容を着実に身に付けることができたと感じる生徒100%
- 1 (2) 時間を意識して活動するようになったと回答する教職員・生徒100%
- 2 (1) 課題の解決に向けて自分で考え、自ら取り組んでいると回答する生徒100%
- 2 (2) 自分たちで主体的に考えて活動するようになったと回答する生徒100%
- 2 (3) 前年度と比べ時間外在校等時間が減少したと回答する教職員100%
- 3 (1) 生徒の良さや健康状況を把握し、生徒との関わりや教職員との情報共有に生かしたと回答する教職員100%
- 3 (2) 見通しをもって計画的に学習するようになったと回答する生徒100%

共通認識

授業の中で
生徒・学級を育てていく

- (1) 話し合いの場面において、ピア・サポートの姿勢を積極的に評価して、親和的な学級作りにつなげる。
- (2) (1)のためには、教師自身の話す時間を短くして生徒が考えたり、話し合ったりする時間を確保する。

今年度の授業づくり

- (1) 生徒の学習状況を把握した適切な目標設定
・生徒目線の具体を提示（何をどこまでできたらよい）
- (2) 設定した目標に生徒が自ら到達するための指導の工夫
・本時の授業のゴールに辿り着くための仕掛け（教える、個人で考えさせる、話し合う、書かせるなど）

【緑中の子どもたちについて】

- 素直で、よい資質・能力を備えており、意図的に認め、叱り、よさを引き出し、伸ばし、学級集団として成長させることで、「子どもたちにとっての学校」を創造することができる。
- 集団になじめない入れない生徒の増加、よりよく判断する自己決定の力、存在感、表現力、協働する力等が十分身に付いていない状況がみられる。

★学校運営を推進していく上で、特に大切にしている2つの願い★

【教師の願い】

- ・自分のことは、自分でやりきる
- ・正しく判断できる
- ・人とのつながりを大切にできる
- ・互いに認め合う、深め合うことができる
- ・自分の考えや思いを言葉にできる

【子どもたちの願い】

- ・目標達成に向けて、一生懸命になれる
- ・思いやりのもてる自分になりたい
- ・自分で考え、行動できる
- ・何にでも挑戦できる
- ・周りを見て行動できる
- ・自分に自信を持てるようになりたい

